

立教小学校

【院長】西原 廉太

【校長】田代 正行

(現住所) 〒171-0031 東京都豊島区目白 5-24-12 (2026年9月移転予定) 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-36-26
TEL 03-3985-2728 (代) <https://prim.rikkyo.ac.jp/> 【交通】西武椎名町駅・東京メトロ要町駅 (移転後は JR・西武・東武・東京メトロ池袋駅)

キリスト教信仰にもとづく人間教育、 愛の教育の実践

神さまによろこばれる子ども～4つの教育目標

- ①友だちのよいところがわかる子ども
- ②自分のよいところを表現できる子ども
- ③広い視野でものを見られる子ども
- ④すべてに感謝できる子ども

命の大切さ、共に生きる喜びを学ぶ

本校はキリスト教信仰に基づく人間教育、愛の教育を実践しています。礼拝・祈り・聖書の学びを通して、神さまから与えられた命の大切さ、共に生きる喜びを学びます。一人ひとりを大切に、聴き合い、学び合いを通して確かな学びにつなげ、進んで学ぶ意欲の喚起に努めます。また、小・中・高・大と続く一貫連携教育を進めています。「一人ひとりの賜物を引き出す」神さまから与えられた一人ひとりの賜物を引き出すことを大切にします。学習においては「聴く」こと、「学び合う」ことを重視します。のびのびと自分を表現する子どもたちの成長を丁寧に見定め、適切な指導を行います。

教育の特色と活動

本校の学びは、暗記と再生の正確さ、速さを競う勉強、時間とともに容易に剥落する知識の詰め込みからの転換を図っています。子どもの興味関心を重視し、教師も子どもも互いに学び合いながら、全員が集中、熱中する学び、100点満点をゴールとせずにその先を探索する学びを目指しています。「分からない」が言える授業、「できる」「分かる」「使える・役立つ」という学びの段階に応じ、子どもたち一人ひとりの創造的な思考に価値を見出す授業づくりを目指して、日々創意工夫を重ねています。

このような立教小学校での6年間の学びを通して、自ら学び続ける力、人と共に生きることを喜ぶ心を持つ子どもとして巣立ち、立教学院の各学校において進んで学び続け、神と人ともに仕え、神さまに喜ばれる人として、成長していってくれることを願っています。

上級学校に進むには

小学校で授業に集中する習慣を身につけてしまえば、立教学院の一貫連携教育システムを有効に活用して、伸び伸びと個性を發揮しながら、大学まで競争する事なしに進学できます。そこで、上級学校への推薦のためには、何よりも授業への主体的な参加、基本的な生活習慣を重視しています。

真剣さと優しさにあふれた学校を

立教小学校校長 田代 正行

人は一人ひとり神さまから愛され、かけがえのない賜物をいただき、互いを尊重し、支え合いながら生きていきます。本校のキリスト教信仰に基づく愛の教育のもと、礼拝、祈り、聖書の学びを通して命の尊さ、自然の偉大さ、自分自身や友だちの大切さを学びつつ、神さまに愛されている喜びと自信を育んでいきます。学び合う学び、キャンプやフィールドワークなどの豊富な体験活動を通して、テーマをもって真理を探究する力、共に生きる力を育てます。聴き合い・認め合い、真剣さと優しさにあふれた学校をこれからも目指していきます。



沿革

立教学院は、1874(明治7)年アメリカ聖公会の宣教師ウィリアムズ主教によって創設されました。立教小学校は、1948(昭和23)年、真のキリスト教教育は幼児期からなされるべきであるという考えの下に設立されました。以来、立教学院は、自由の学府として、小学校から大学までの、キリスト教に基づく一貫連携教育を行っております。

2026年度募集要項(実施済み)

募集人員：男子120人

出願期間：

10月1日9:00～10月3日16:00

(Webによる出願)

考査料：30,000円

選考日：11月3日・4日の2日間

選考内容：基礎学習能力テスト等

合格発表：11月6日9:00～7日16:00

(Webによる発表)

【かかる費用(2026年度参考)】

入学金：340,000円

授業料：804,000円

維持資金：318,000円

その他に冷暖房費、教育振興費など。

初年度納入金総額：1,800,800円

併設中学進学状況

◆立教池袋中学校(56人)

◆立教新座中学校(59人)

※成績等が基準に達した者は原則進学可能

データパック

◆児童数715人/教員数48人(2025年度)

◆26年度応募者数：男子515人

◆入学者数：男子120人

【併設校】

○立教池袋中学校・高等学校

○立教新座中学校・高等学校

○立教英国学院中部・高等部

○立教大学